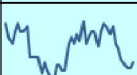


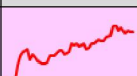
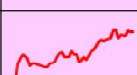
注目ポイント

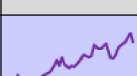
- ✓先週の日経平均は大幅に上昇。米利下げ観測を手掛かりに米国株が上昇した流れを受けて、日本株にも買いが入った。27日には日経平均が11月17日以来となる、終値ベースでの5万円台を回復した。一方、先週のドル円はやや円高ドル安となった。日本の財政悪化懸念から円が売られる場面もあったが、米利下げ観測がドル売り要因となった。
- ✓今週の注目は1日に予定されている植田日銀総裁の講演。最近の円安傾向を受けて、植田総裁が早期利上げに前向きな発言をした場合には、株式相場の重荷となろう。一方、外為市場では、日銀の早期利上げが意識されれば円買い圧力となるものの、日本の財政悪化を懸念した円売りの流れは止まっておらず、円高の余地は限定的とみられる。(北田英治)

2025年11月24日 ~ 2025年11月28日

市場・指標			11月24日 ~ 11月28日		11月28日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	50,322	48,490	50,254	+1,628	+3.3%	
	 米国	NYダウ (ドル)	47,751	46,108	47,716	+1,471	+3.2%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	23,884	23,139	23,837	+745	+3.2%	

市場・指標			11月24日 ~ 11月28日		11月28日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.825	1.775	1.805	+0.030	
	 米国	10年 (%)	4.07	3.96	4.01	-0.05	
	 ドイツ	10年 (%)	2.71	2.66	2.69	-0.01	

市場・指標			11月24日 ~ 11月28日		11月28日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		157.19	155.65	156.18	-0.23	
	 ユーロ (円)		181.52	180.07	181.16	+1.04	
	 豪ドル (円)		102.37	100.35	102.30	+1.33	

市場・指標			11月24日 ~ 11月28日		11月28日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リト (ポイント)	2,047	1,992	2,024	+13	+0.6%	
	 米国	NY原油 (ドル)	59.64	57.10	58.55	+0.5	+0.8%	
		NY金 (ドル)	4,263	4,073	4,255	+139	+3.4%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り & 予想)

2025年12月1日 ~ 2025年12月5日

● 株式

もみ合いか

日経平均
 【予想レンジ】 49,500 円 ~ 51,000 円

- 先週の日経平均は大幅に上昇。米利下げ観測を手掛かりに米国株が上昇した流れを受けて、日本株にも買いが入った。27日には、日経平均が11月17日以来となる、終値ベースでの5万円台を回復した。
- 今週の日経平均はもみ合いか。米国の年内利下げ期待が引き続き投資家心理をサポートすると見込まれる。注目は1日に予定されている植田日銀総裁の講演。最近の円安傾向を受けて、植田総裁が早期利上げに前向きな発言をした場合には、株式相場の重荷となろう。



● 金利 (国債)

強含み(上昇) もみ合いか

10年国債利回り
 【予想レンジ】 1.760 % ~ 1.840 %

- 先週の国内金利は上昇。連休明けの25日には、日銀の増一行審議委員の発言を受けて、日銀の早期利上げが意識され、中期債を中心に売りが優勢となった。週末28日には、国債の追加発行への懸念などから債券の売りが膨らみ、10年国債利回りが一時1.825%まで上昇する場面もあった。
- 今週の国内金利は、強含み(上昇) もみ合いか。高市政権が進める積極財政への不安がくすぶる中で、国債増発への思惑から債券の売り圧力が強まっている。1日の植田日銀総裁の講演で、早期利上げに前向きな発言が出れば、債券売りに弾みがつく可能性がある。2日の10年債入札や4日の30年債入札も注目材料。



● 為替 (米ドル)

円強含みでのもみ合いか

米ドル/円
 【予想レンジ】 155.00 円 ~ 157.00 円

- 先週のドル円は、やや円高ドル安となった。24日には、高市政権が掲げる拡張的な財政政策が日本の財政悪化につながるとの懸念から円を売ってドルを買う動きが優勢となった。しかし25日には、11月の米消費者信頼感指数の下振れなどで米利下げ観測が強まり、円買いドル売りが優勢となった。週末28日には、目立った相場の取引材料を欠く中、米利下げ観測が円買いドル売りの支えとなった。
- 今週のドル円は、円強含みでのもみ合いか。米国の利下げの織り込みが進む中で、ドルの上値が抑えられよう。1日の植田日銀総裁の講演で、早期利上げに前向きな発言が出れば、円買い圧力が高まる可能性も。ただ、日本の財政悪化を懸念した円売りの流れは止まっておらず、円高の余地は限定的とみられる。

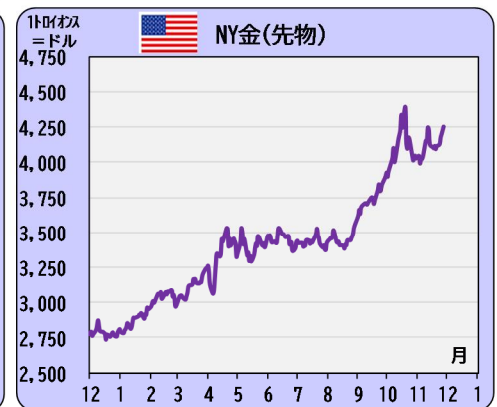
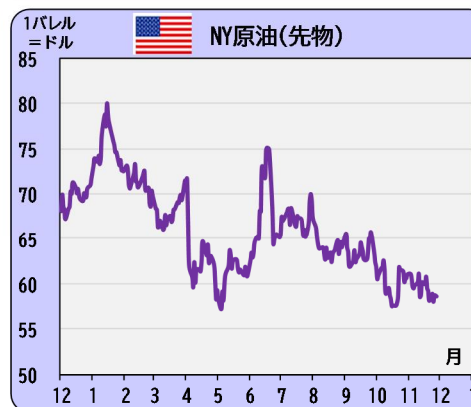
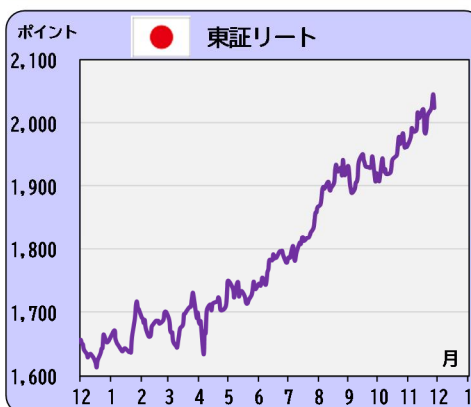
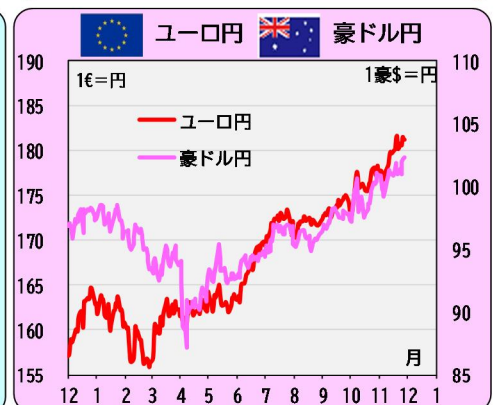
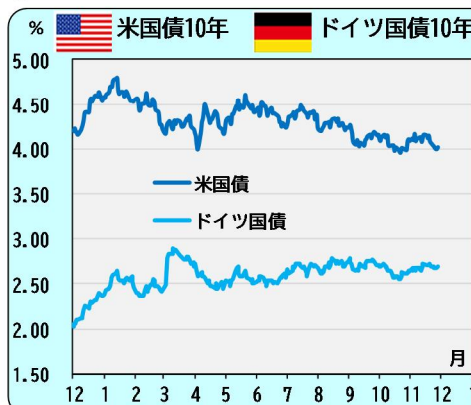
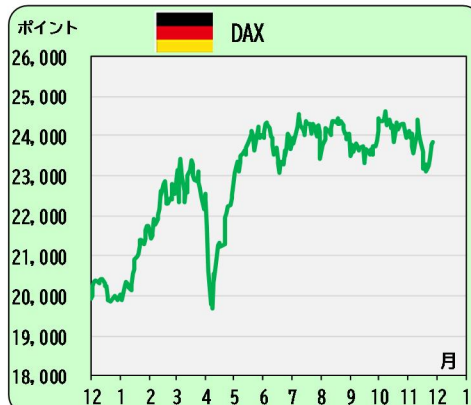
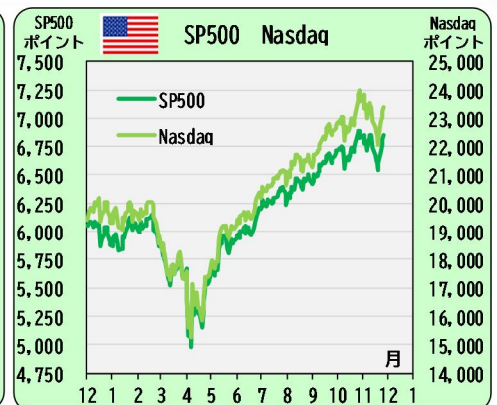
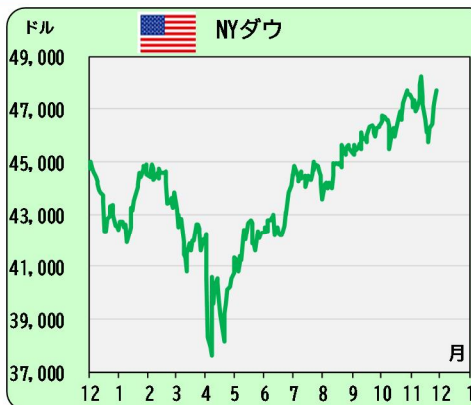


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/1(月)	植田日銀総裁が名古屋市での金融経済懇談会で講演	米国: ISM製造業景況指数(11月)
12/2(火)	国債入札(10年)	
12/3(水)		米国: ISM非製造業景況指数(11月)
12/4(木)	国債入札(30年)	米国: 貿易収支(10月)
12/5(金)	家計調査(10月) 景気動向指数(10月)	米国: 雇用統計(11月) 米国: 消費者信用残高(10月) 米国: ミシガン大学消費者態度指数(12月)速報値

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
ADP	米国の給与計算代行大手会社	FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウェストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。